

第65回日本学生科学賞 最終審査進出研究作品概要

JW013CE	中学	広領域	宮城県
学校名	岩沼市立岩沼西中学校		
研究作品タイトル	香り長持ち快適マスク生活！！		
研究者氏名 (共同の場合はグループ)	佐藤 紅羽		
指導教諭氏名	佐藤 奈菜		

【動機】

マスクが必需品となった今日、1日中マスクをつけていると食後などにマスク内の臭いが気になることがあった。そこで、その臭いを緩和するためにマスクに香りをつけることで少しでも快適に生活したいと考えた。また、ただ香りをつけるだけでなく、香りを長持ちさせる方法についても研究した。

【方法】

香りを長持ちさせるには、香りを閉じ込めるのが良いと考え、ハンドクリームの香りの持続性から着想を得て、香りを閉じ込める物質としてワセリン(無香料)を用いた。また、脱臭炭から着想を得て、香りを炭に閉じ込める方法についても研究した。

【結果】

ワセリンをマスクに塗布したり、香りをワセリンの中に閉じ込めてみたりした結果、香りが出てこなくなってしまう。しかし、コーヒーの出廻らしなどの不要物を炭にして用いた実験では、炭が香りを吸着してくれたため、香りをより長持ちさせることが出来た。

【まとめ】

マスクに直接香りを付けるよりも、炭に香りを吸着させほうが香りを長持ちさせることが分かった。今回実験に用いた炭の中でも麦茶の出廻らしを使用したものが香りを持続させる能力が高かった。さらに、今回の実験で作製した炭を実際に装着したマスクも作った。

【展望】

今回の研究は、マスクの臭いの不快感を少なくして、マスク生活をより快適に送ることができるようになることを目的として行った。今回の実験で作製した香り吸着物質は、不要となるものを利用しているので、快適で環境にも優しいマスク生活を送れるようになることが期待できる。